

(2) 児童生徒質問紙

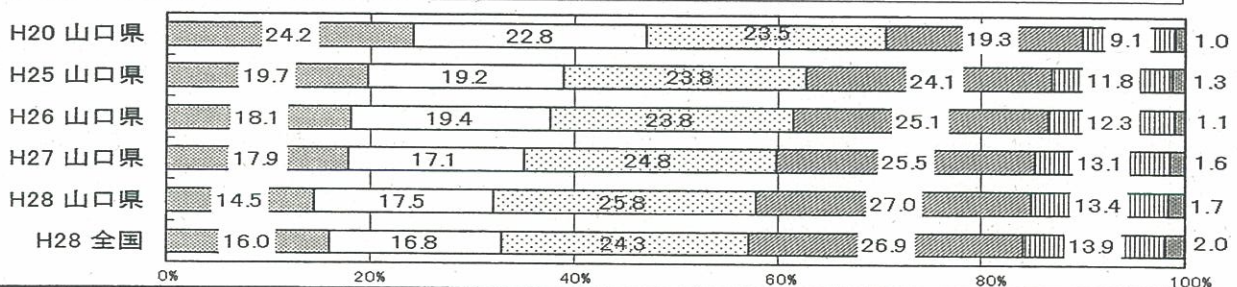
① 家庭での生活習慣

ア 平日のテレビ等の視聴時間

● 平日1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりすると回答した児童生徒の割合は、年々減少しているが、小学校児童の割合は全国に比べて依然として高い。さらに、4時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする児童は14.5%、生徒は9.3%いる。  
 ☞ テレビやビデオ・DVDを視聴する時間が短い児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、テレビ等の視聴時間に関する家庭のルール作りを推奨する等、引き続き、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

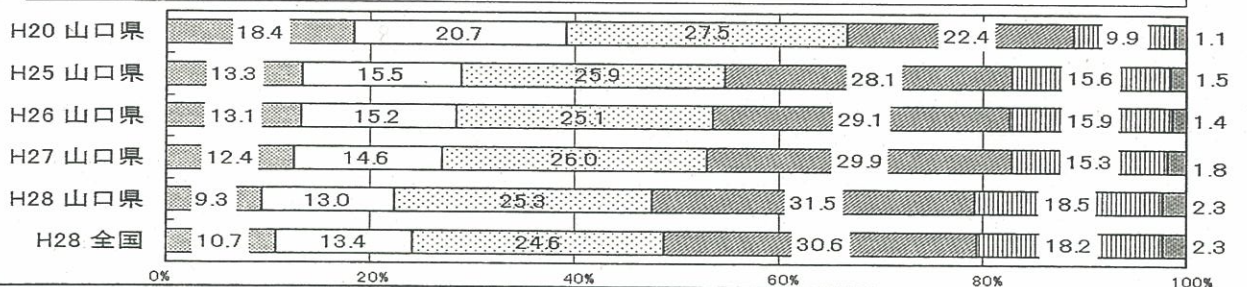
【小学校】 (11) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【中学校】 (11) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

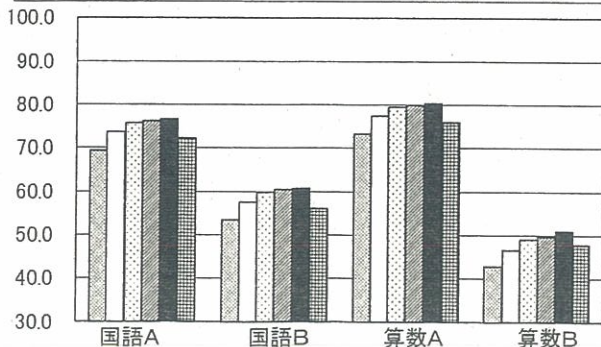
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



[教科の正答率との関係]

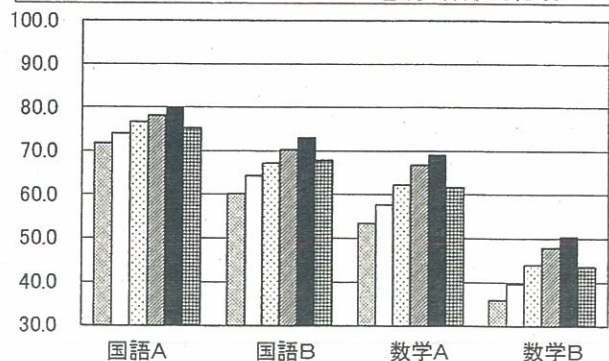
【小学校】 平日、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする時間(1日あたり)

□4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全く見たり、聞いたりしない



【中学校】 平日、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりする時間(1日あたり)

□4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全く見たり、聞いたりしない



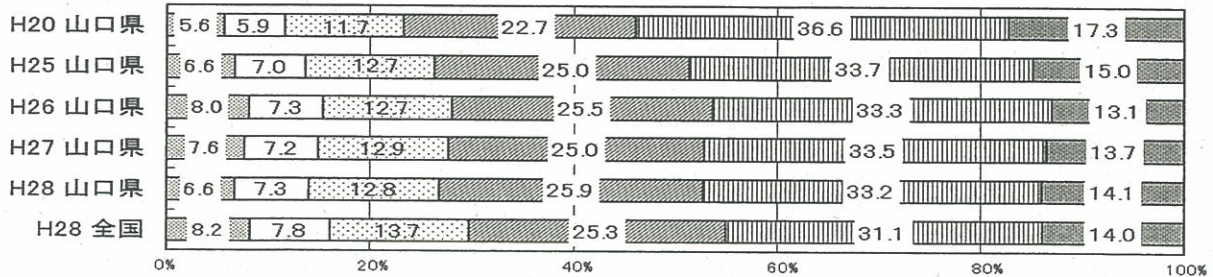
## イ 平日のテレビゲームの時間

● 平日1日当たり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合は、全国に比べて低いものの、依然として5割以上おり、児童より生徒の方が割合が高い。

☞ テレビゲームをする時間が短い児童生徒の方が、全ての教科において平均正答率が高い傾向が見られることから、テレビゲームに関する家庭のルール作りを推奨する等、引き続き、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

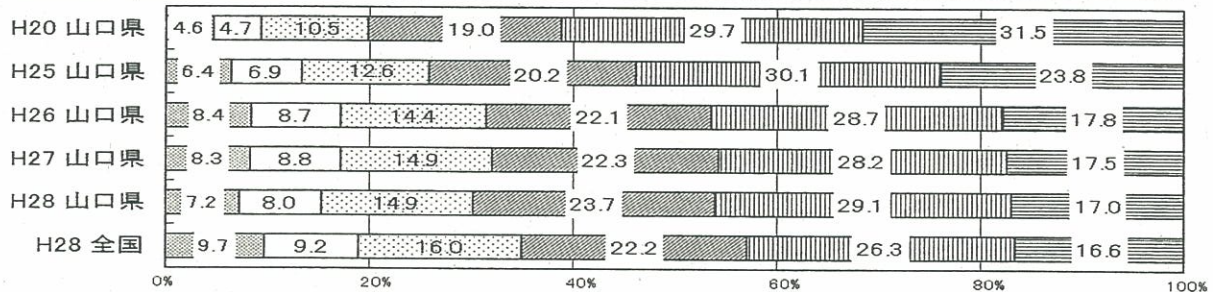
【小学校】 (12) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【中学校】 (12) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

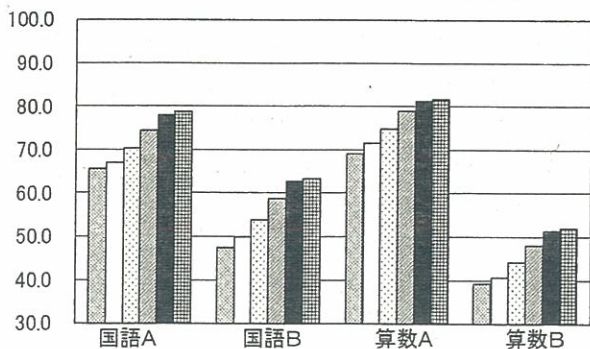
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



## [教科の正答率との関係]

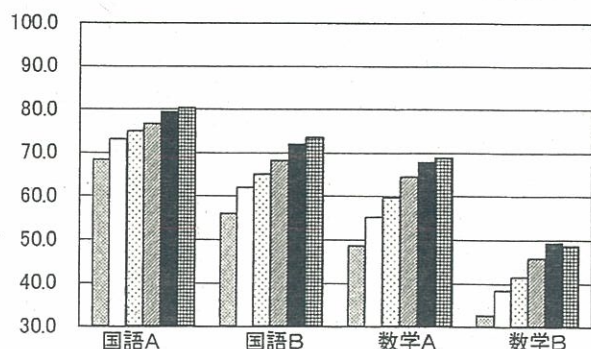
【小学校】平日、テレビゲームをする時間(1日あたり)

■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全くしない



【中学校】平日、テレビゲームをする時間(1日あたり)

■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全くしない

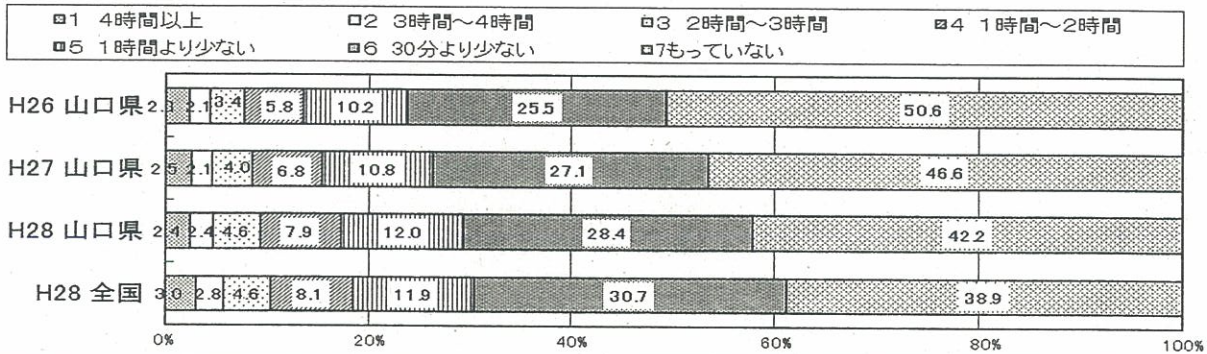


## ウ 平日の携帯やスマートフォンでのインターネット利用時間

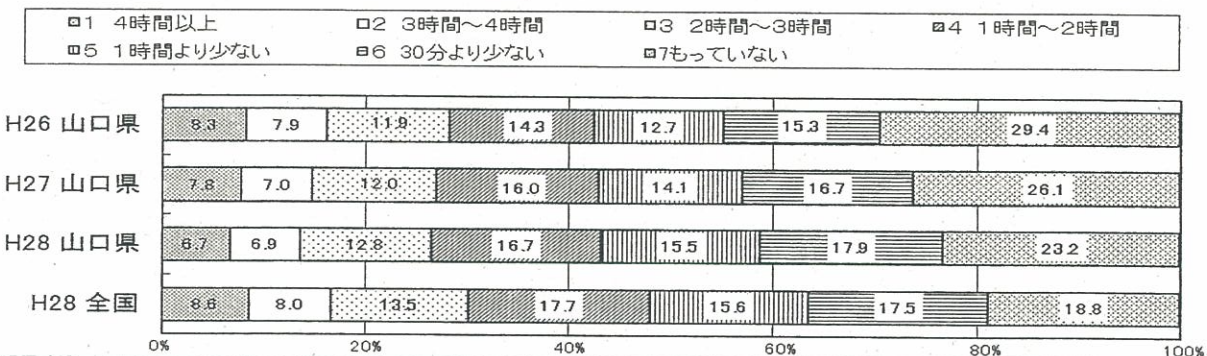
● 平日1日当たり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童生徒の割合は、全国に比べて低いものの、年々増加している。また、「もっていない」と回答する児童生徒の割合は、年々減少している。

☞ 平日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い、あるいはもっていない児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られる。携帯電話やスマートフォンの使い方に関する家庭のルール作りを推奨する等、引き続き、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

【小学校】 (13) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

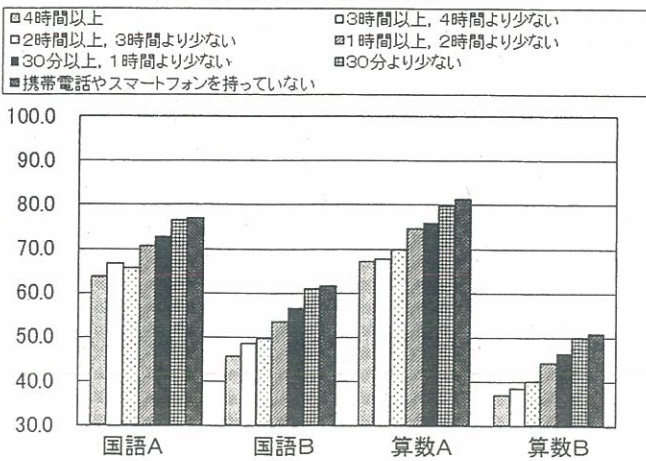


【中学校】 (13) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

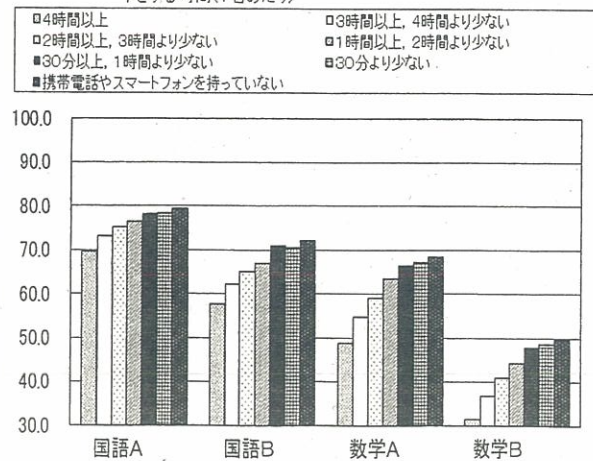


## [教科の正答率との関係]

【小学校】 平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間(1日あたり)



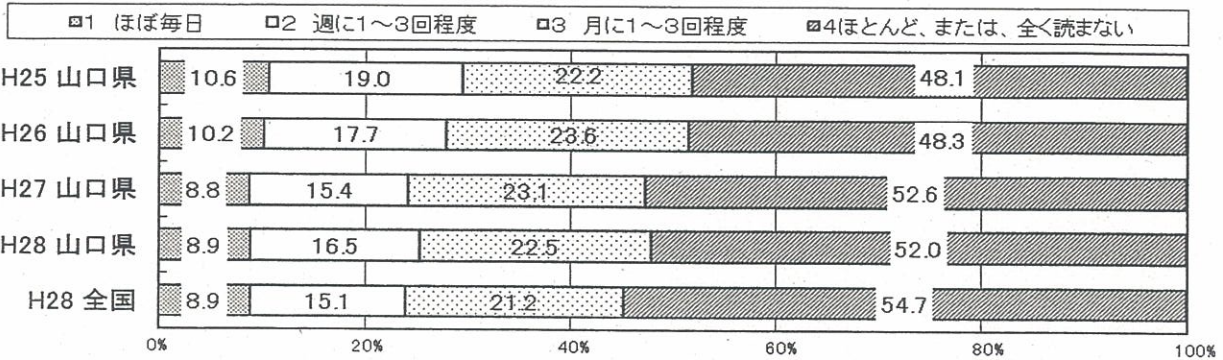
【中学校】 平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間(1日あたり)



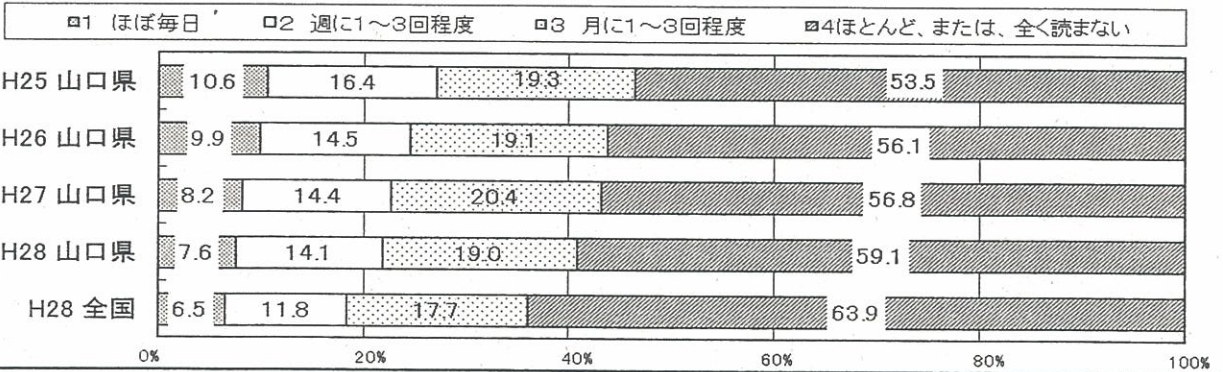
## エ 新聞を読んでいる

- 新聞をほとんど、または、全く読まないと回答した児童生徒の割合は、全国に比べて低いものの、5割以上いる。全く読まない生徒の割合は年々増加しており、児童の割合と比べても多い。
- ☞ 新聞をよく読んでいる児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、活字に触れる、情報を選択する、社会の動きに関心をもつなど、新聞の効果を活用する取組を取り入れるとともに、その取組や効果を家庭と共有する必要がある。

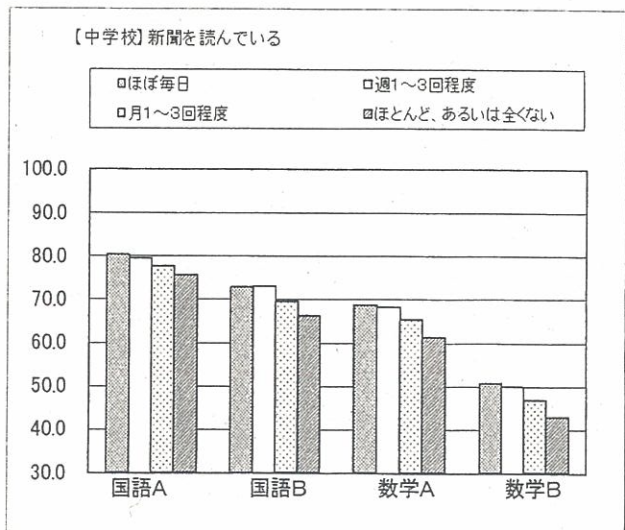
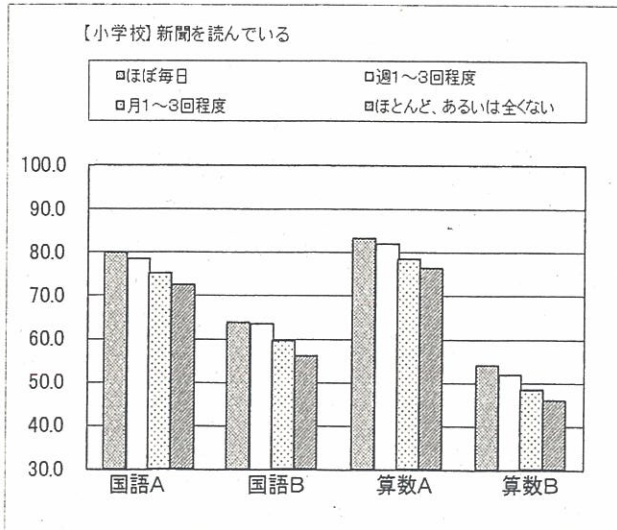
### 【小学校】(37)新聞を読んでいますか



### 【中学校】(37)新聞を読んでいますか



### [教科の正答率との関係]



## ② 家庭での学習習慣

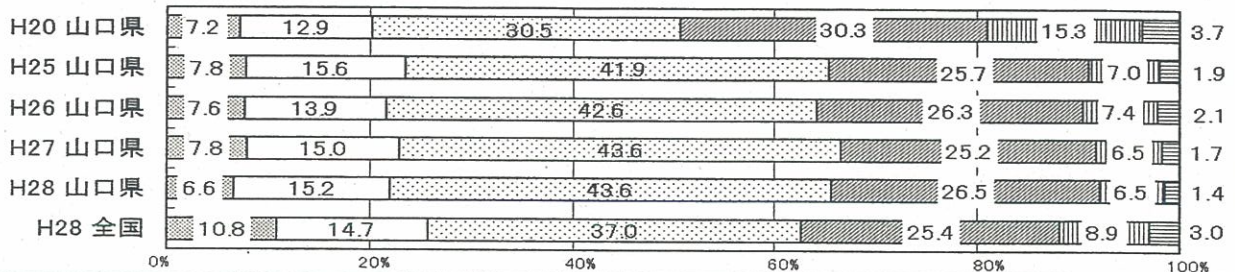
### ア 平日の学習時間

● 学校の授業時間以外に、平日、1日あたりに1時間以上学習する生徒の割合は、はじめて全国に比べて高くなったが、2時間以上の割合は低い。全く勉強しない児童の割合は1.4%、生徒の割合は3.5%である。

☞ 平日に、一定時間以上、学習する児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、今後も引き続き、家庭との連携・協力を密にし、平日の限られた時間を工夫しながら家庭学習に取り組む習慣を定着させていく必要がある。

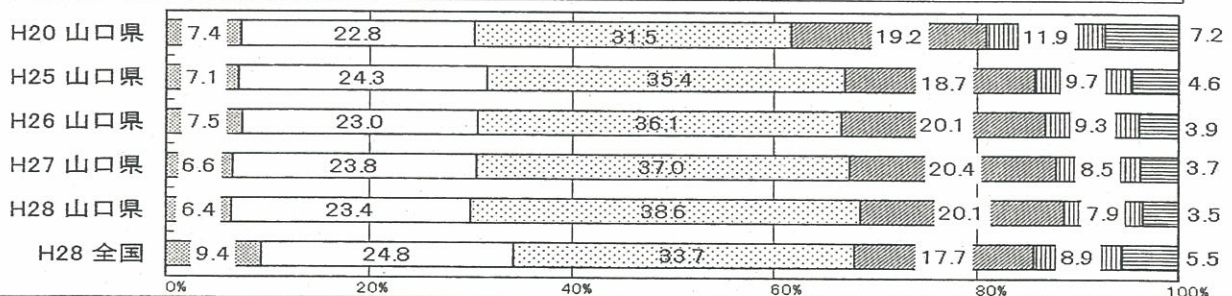
【小学校】 (14) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



【中学校】 (14) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

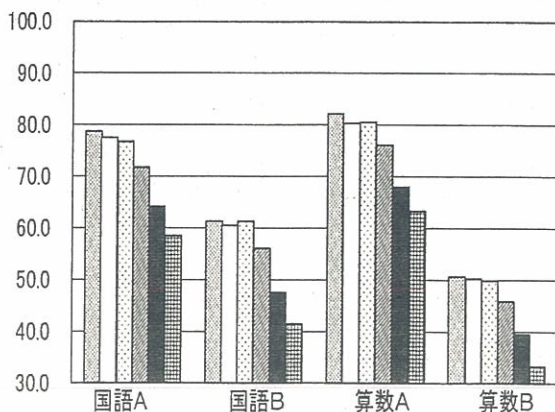
□1 3時間以上 □2 2時間～3時間 □3 1時間～2時間 □4 30分～1時間 □5 30分より少ない □6 全くしない



### [教科の正答率との関係]

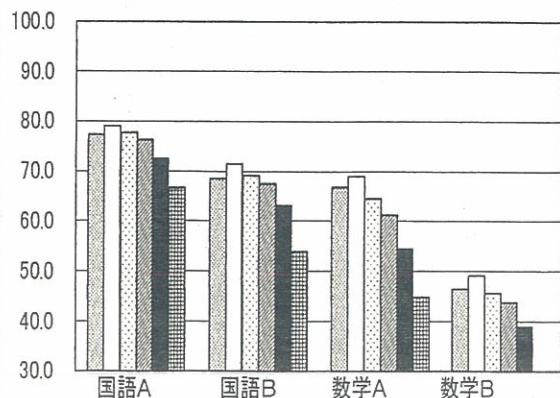
【小学校】平日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)

□3時間以上 □2時間以上、3時間より少ない  
 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない  
 ■30分より少ない □全くしない



【中学校】平日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)

□3時間以上 □2時間以上、3時間より少ない  
 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない  
 ■30分より少ない □全くしない



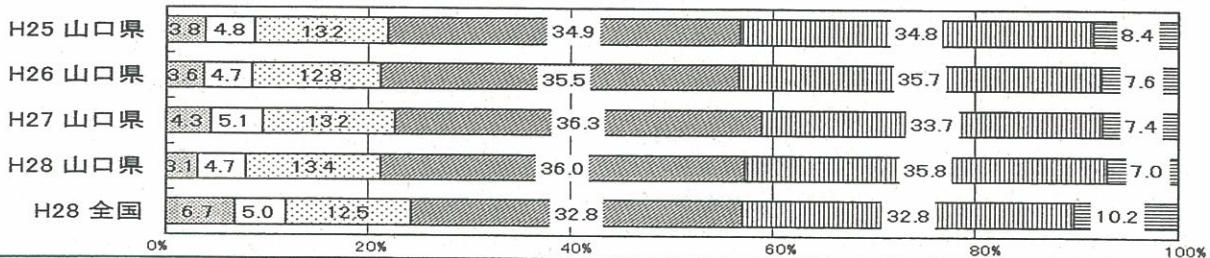
## イ 休日の学習時間

- 学校の授業時間以外に、休日、1日あたりに1時間以上学習する児童生徒の割合は、全国に比べて高いものの、2時間以上の割合は低い。全く勉強しない児童の割合は7.0%、生徒の割合は7.3%で、児童よりも生徒の割合の方が高い。

☞ 休日に、一定時間以上学習する児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、今後も、家庭との連携・協力を密にし、休日の過ごし方等の情報交換を行うとともに、家庭学習習慣の定着を図っていく必要がある。

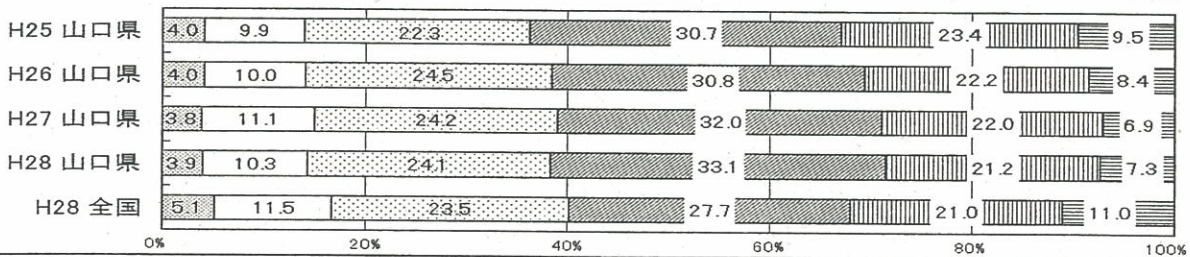
【小学校】 (15) 学校の授業時間以外に、休日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【中学校】 (15) 学校の授業時間以外に、休日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

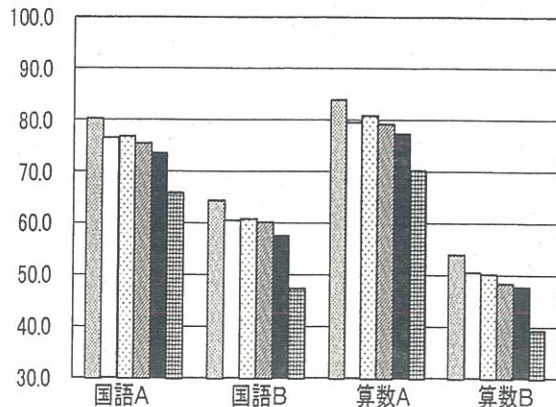
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



## [教科の正答率との関係]

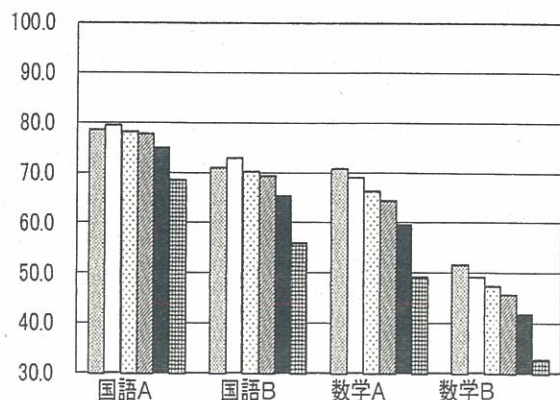
【小学校】 休日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)

■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全くしない



【中学校】 休日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)

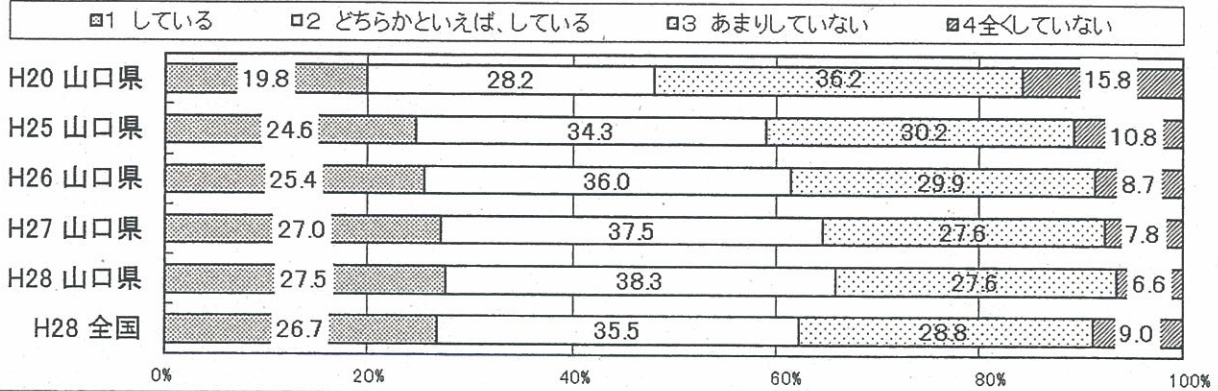
■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない  
 □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない  
 ■1時間より少ない □全くしない



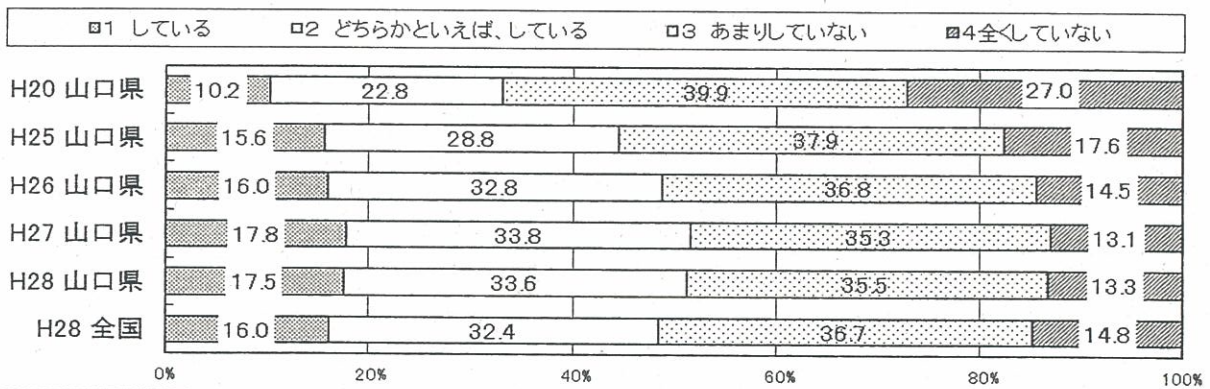
## ウ 自分で計画を立てて勉強している

- 家で、自分で計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、具体的な計画の立て方を示すことなどにより、見通しをもって学習する習慣の確立を図ることが必要である。

【小学校】 (21)自分で計画を立てて勉強している



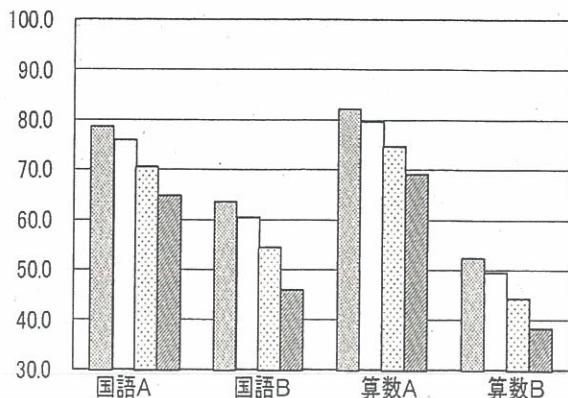
【中学校】 (21)自分で計画を立てて勉強している



## [教科の正答率との関係]

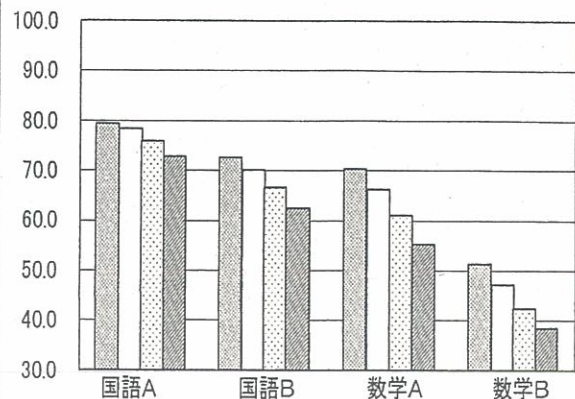
【小学校】自分で計画を立てて勉強している

□ している □ どちらかといえば、している □ あまりしていない □ 全くしていない



【中学校】自分で計画を立てて勉強している

□ している □ どちらかといえば、している □ あまりしていない □ 全くしていない

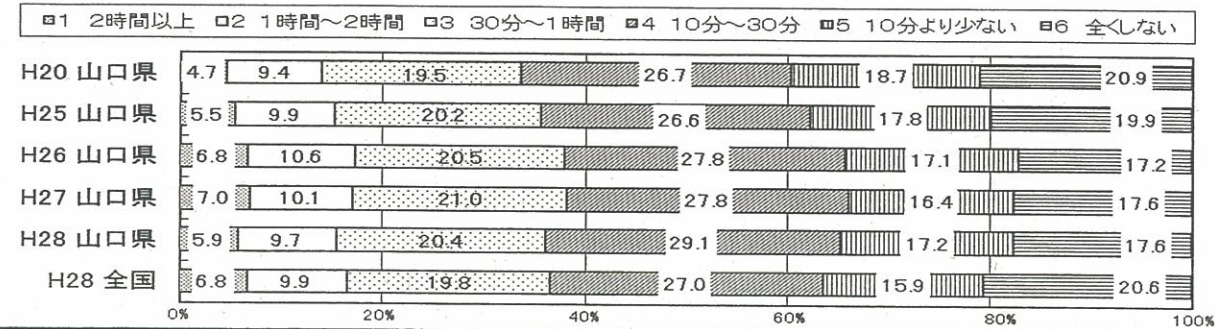


## エ 平日の読書時間

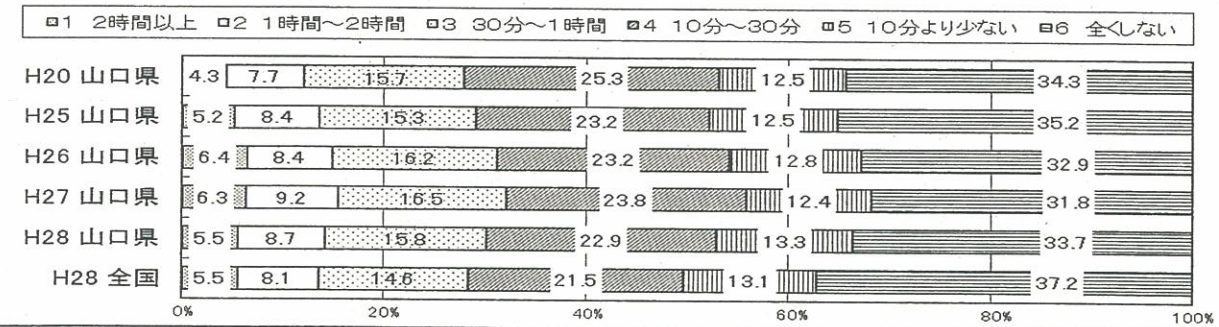
- 平日1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合は、昨年度より減少しており、児童の割合は全国と比べても低い。また、全く読書をしていない児童の割合は17.6%、生徒の割合は33.7%であり、生徒の割合は前年度よりも高くなっている。

☞ 学校の朝読書の時間などを活用し、活字に触れ、読書の楽しさを味わわせる取組の工夫を行うとともに、家庭と情報共有し、連携して読書習慣の確立を図る必要がある。

【小学校】 (17) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか



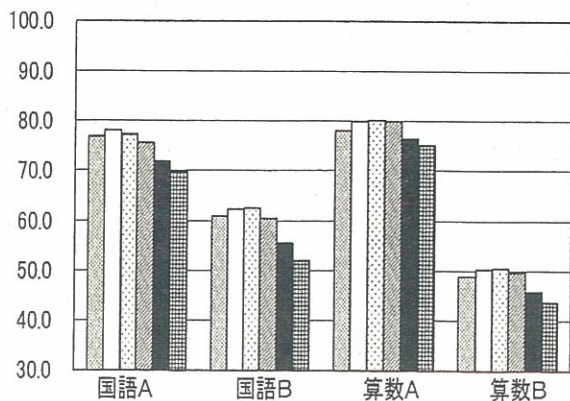
【中学校】 (17) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか



## [教科の正答率との関係]

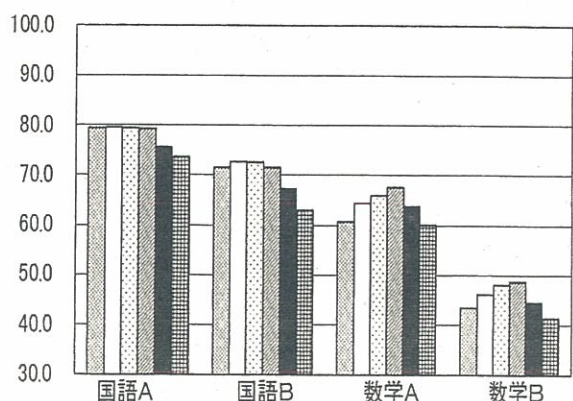
【小学校】平日、読書をする時間(1日当たり)

- 2時間以上
- 30分以上、1時間より少ない
- 10分より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 10分以上、30分より少ない
- 全くしない



【中学校】平日、読書をする時間(1日当たり)

- 2時間以上
- 30分以上、1時間より少ない
- 10分より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 10分以上、30分より少ない
- 全くしない





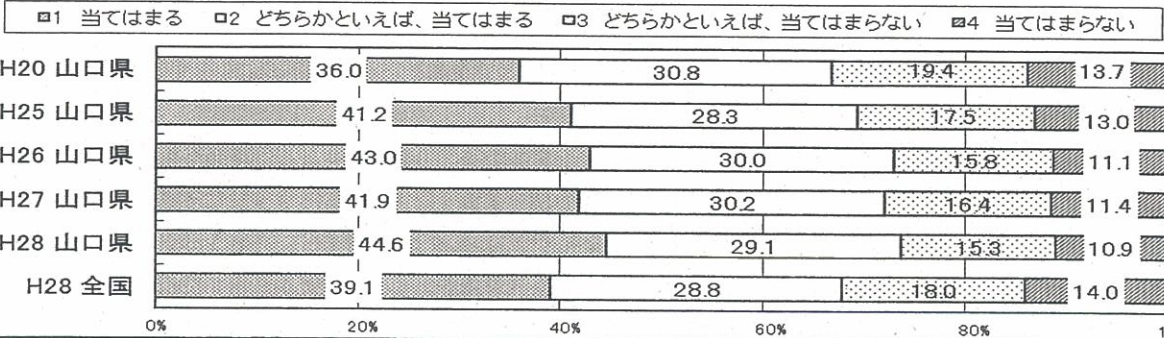
### ③ 地域との関わり

#### ア 地域行事への参加

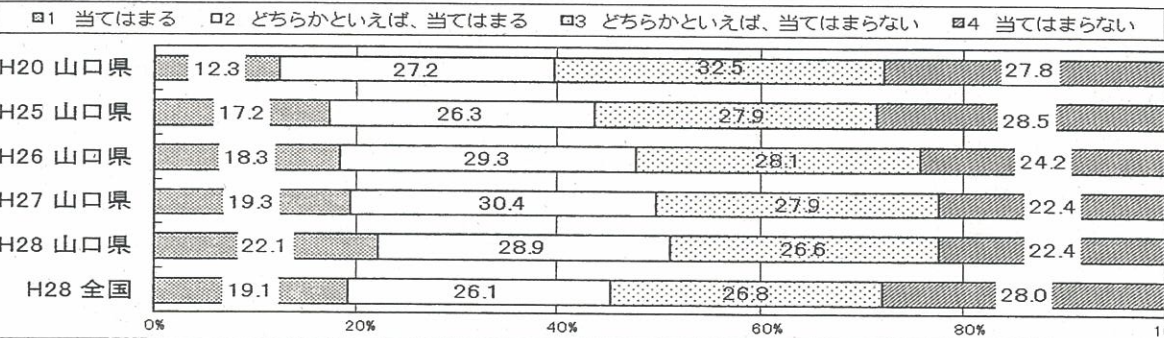
○ 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高く、特に生徒の割合は年々増加している。

☞ コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域にどのような行事があるかを伝えるなど、今後も地域とのつながりを大切にしたい指導の充実が求められる。

【小学校】 (34) 今住んでいる地域の行事に参加している



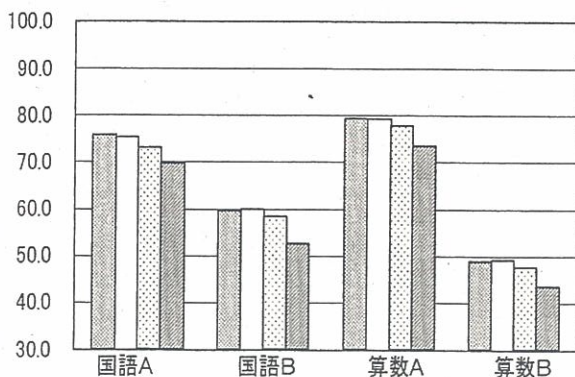
【中学校】 (34) 今住んでいる地域の行事に参加している



#### [教科の正答率との関係]

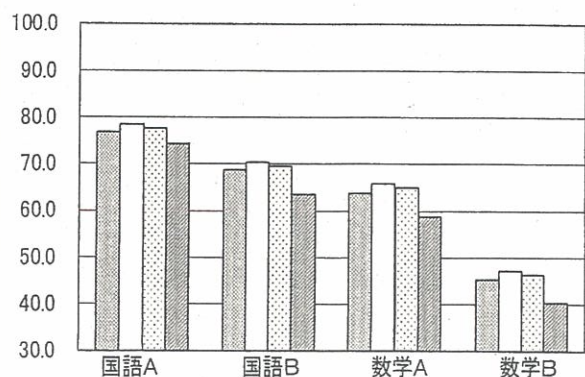
【小学校】今住んでいる地域の行事に参加している

□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



【中学校】今住んでいる地域の行事に参加している

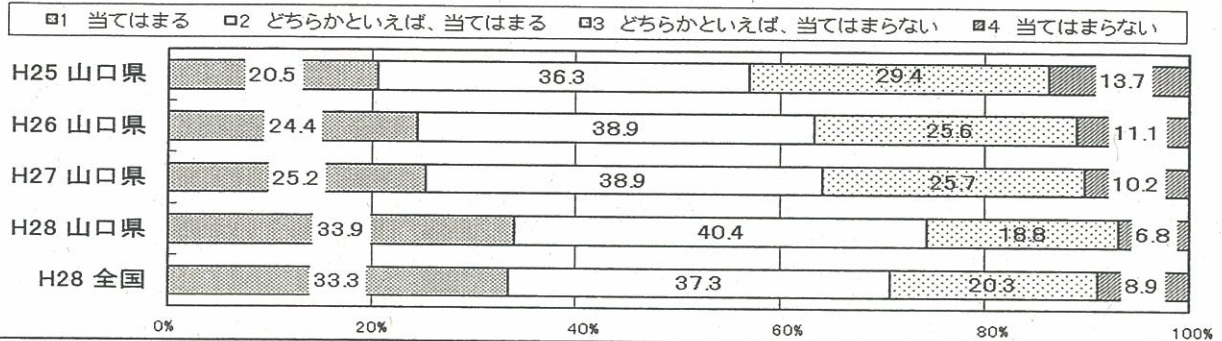
□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない



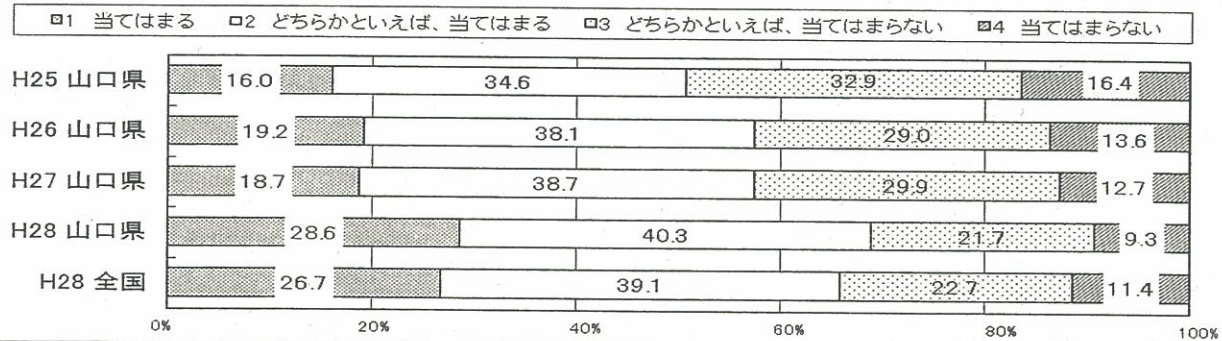
## イ 地域や社会の出来事に関心がある

- 地域や社会の出来事に関心があると回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られる。引き続き、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域を身近に感じ、様々な出来事に関心をもたせるよう、地域とのつながりを大切にされた指導の充実が求められる。

【小学校】 (35) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

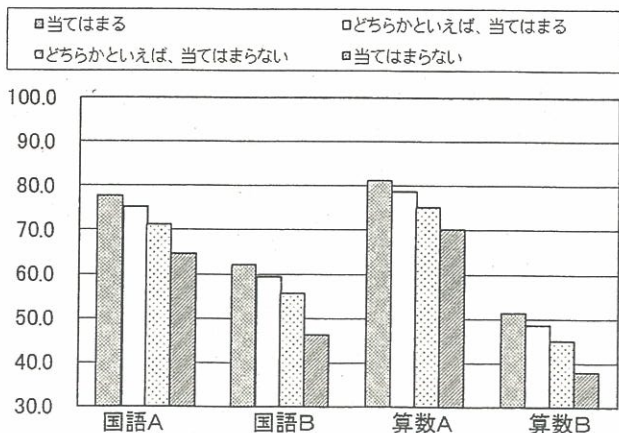


【中学校】 (35) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

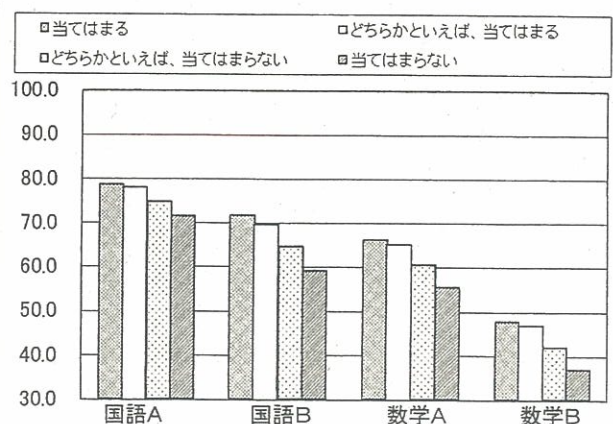


## [教科の正答率との関係]

【小学校】 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある



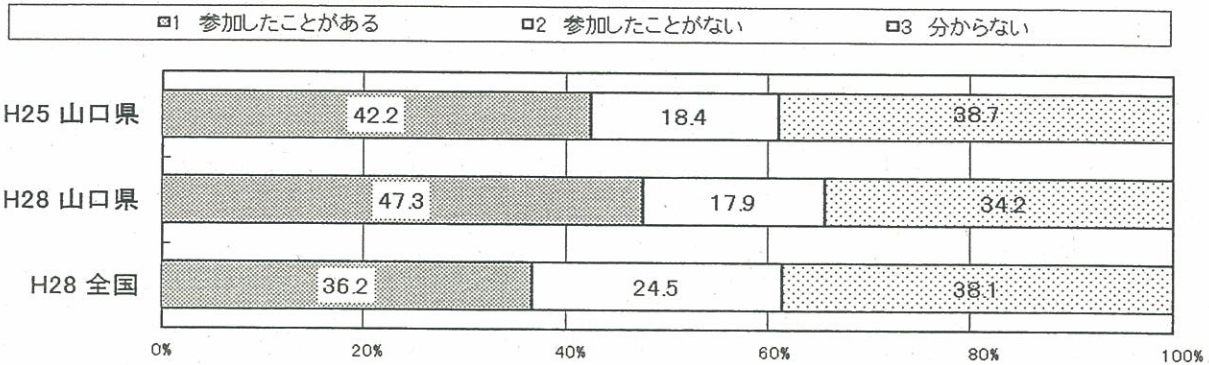
【中学校】 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある



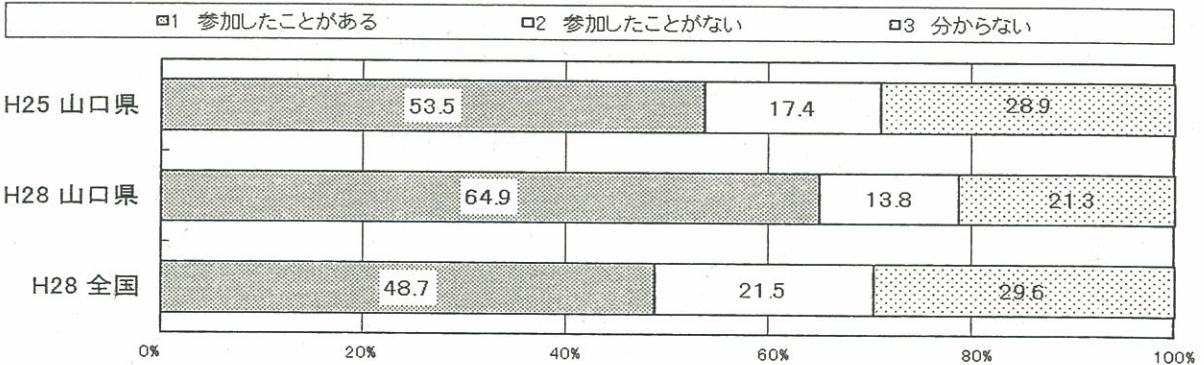
## ウ 地域でのボランティア活動への参加

- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高く、平成25年度と比較しても増加している。
- ☞ 参加したことがあると回答した児童生徒の方が、参加したことがないと回答した児童生徒に比べ、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られる。引き続き、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域とのつながりを大切に、地域貢献の意識を高める指導の充実が求められる。

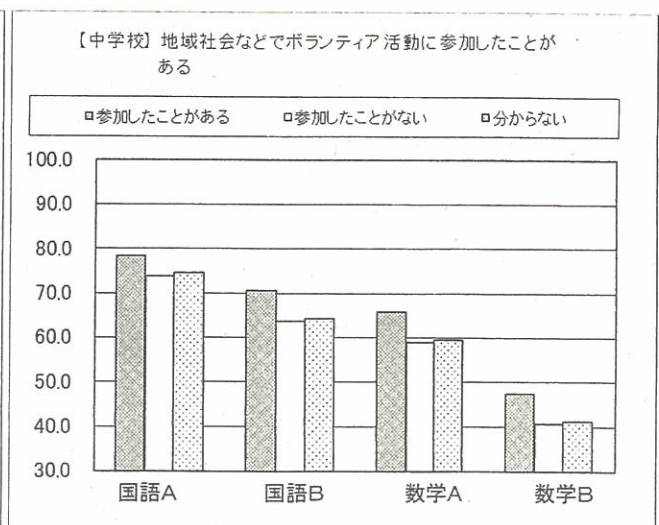
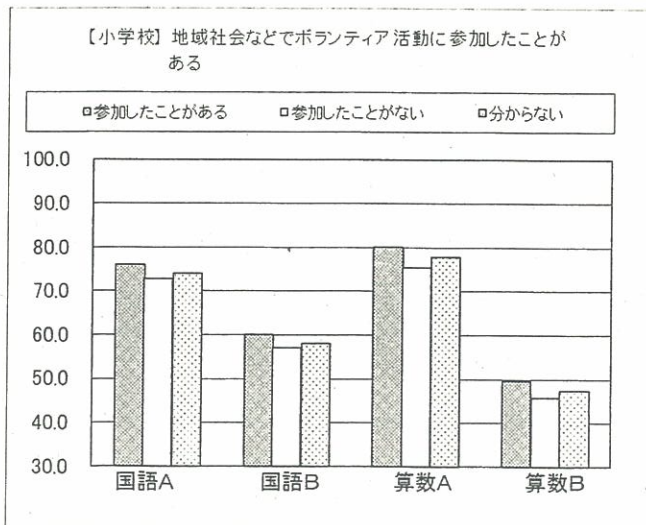
### 【小学校】 (36) 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



### 【中学校】 (36) 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



### [教科の正答率との関係]

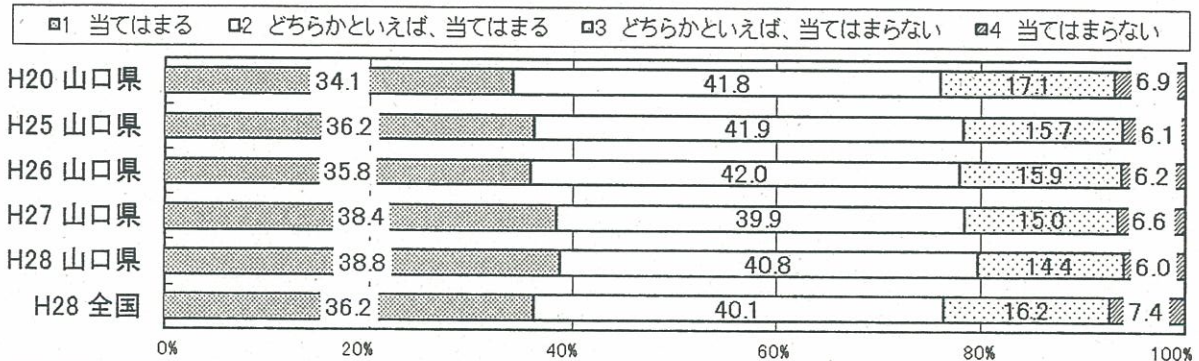


#### ④ 子どもたちの意識

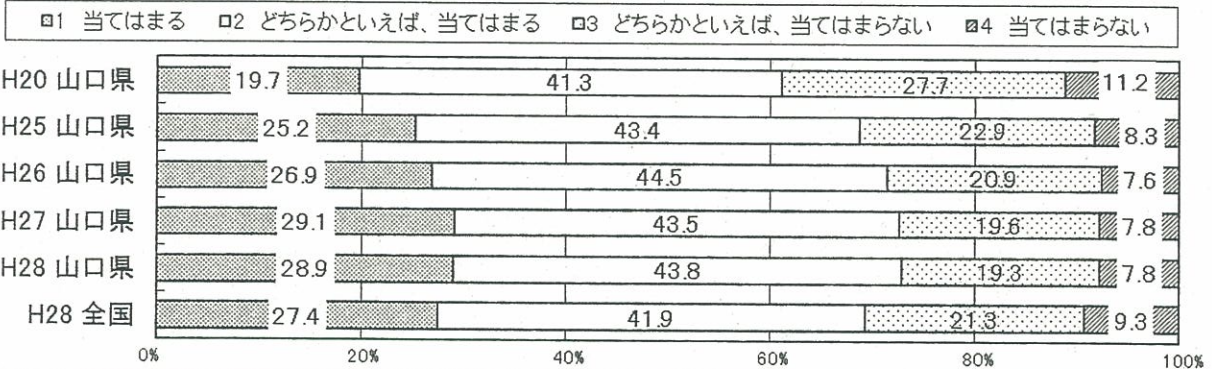
##### ア 自分にはよいところがある

- 自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合は、年々増加しており、全国に比べると高い。
- 一方で、肯定的な回答をしなかった児童の割合は20.4%、生徒は27.1%である。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、児童生徒一人ひとりのよさを具体的に認めたり、適切に評価したりする指導や場の一層の充実が望まれる。

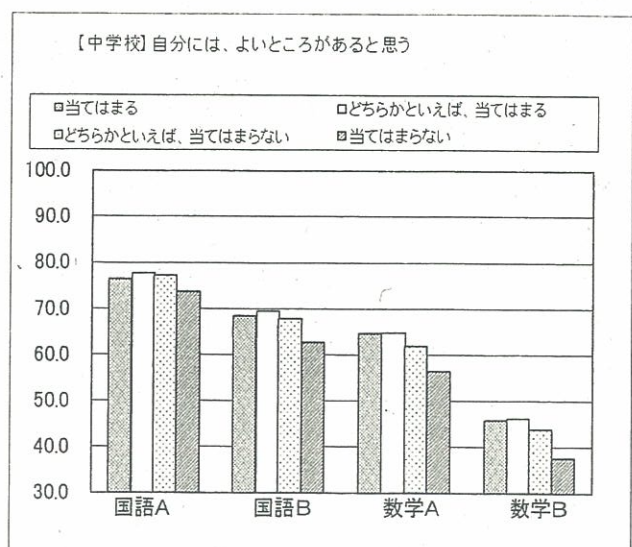
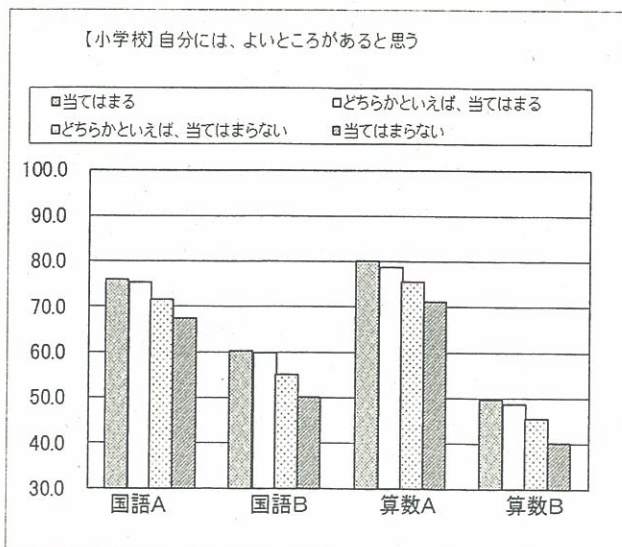
#### 【小学校】 (6)自分には、よいところがあると思う



#### 【中学校】 (6)自分には、よいところがあると思う

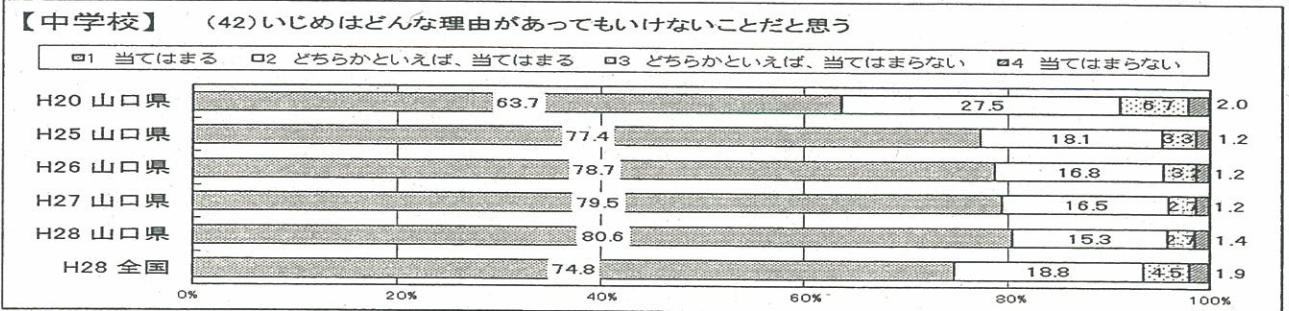
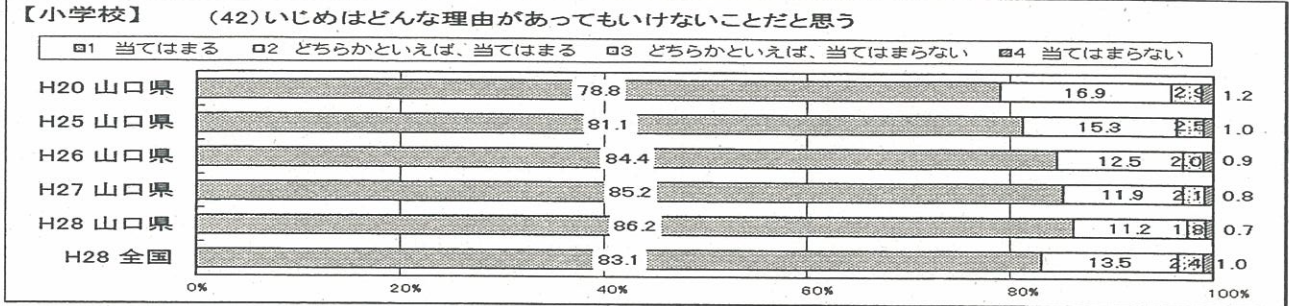


#### [教科の正答率との関係]



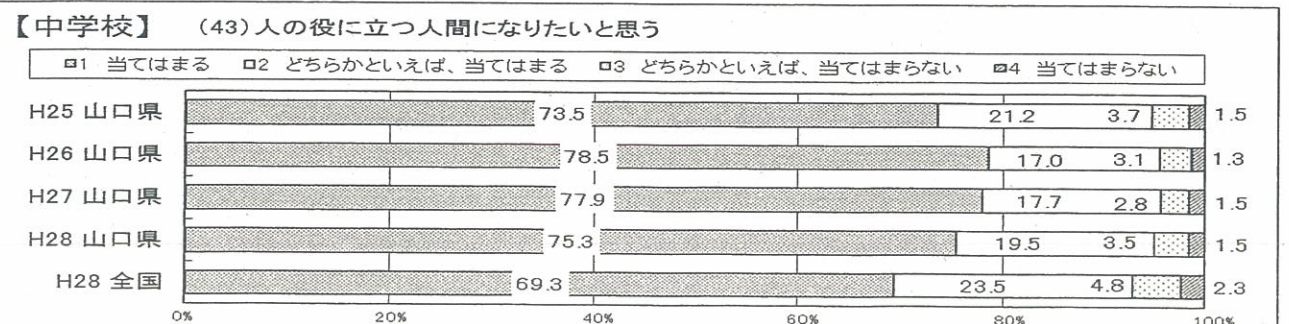
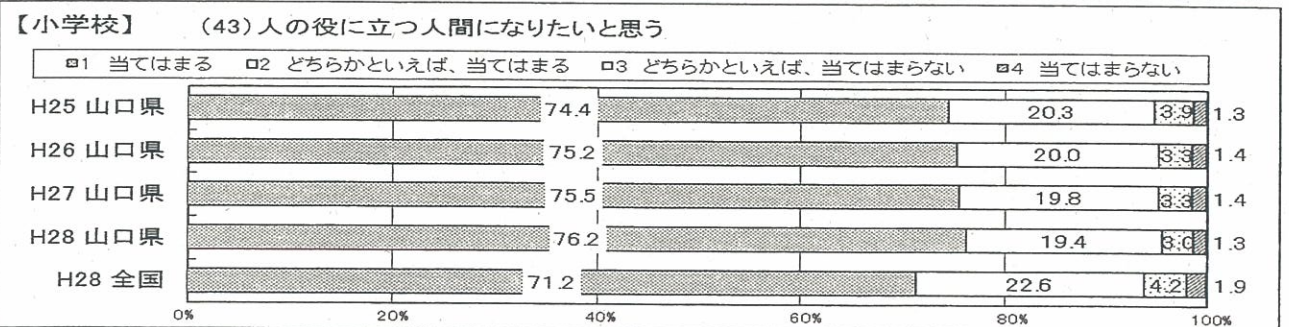
## イ いじめは絶対にいけない

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
- 一方で、そう考えない児童生徒もおり、「当てはまらない」と回答した児童の割合は0.7%、生徒の割合は1.4%であり、生徒の割合は昨年度より増加している。
- ☞ 全ての児童生徒が、いじめはどんな理由があってもいけないという認識をもつことが重要であることから、今後も、道徳教育の充実をはじめ、心の教育の推進を継続して図る必要がある。



## ウ 人の役に立つ人間になりたい

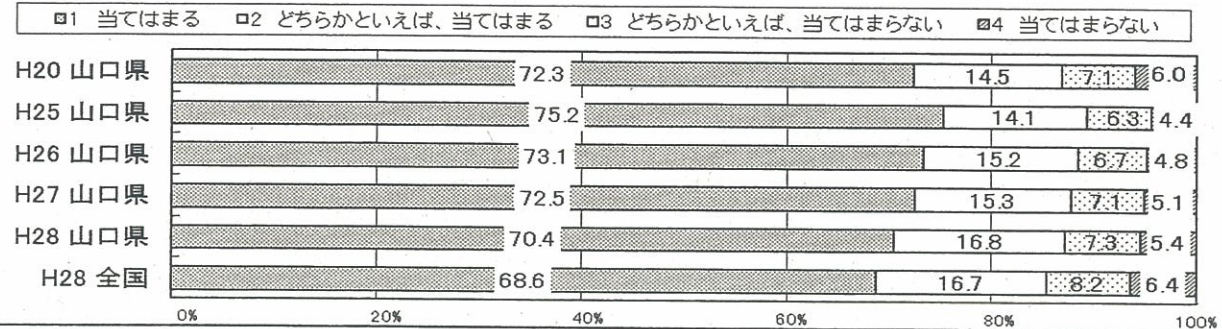
- 人の役に立つ人間になりたいと思うと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- 一方で、肯定的な回答をしなかった児童の割合は4.3%、生徒の割合は5.0%であり、生徒の割合は昨年度より増加している。
- ☞ 今後、道徳科の授業改善や様々な体験活動の充実を含め、心の教育の一層の充実を図る必要がある。



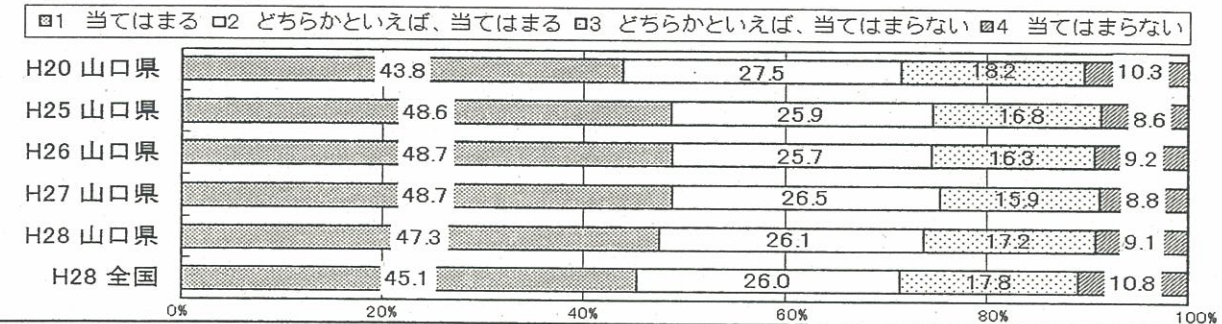
## エ 将来の夢や目標をもっている

- 将来の夢や目標を持っていると回答している児童生徒の割合は、全国に比べて高いものの、いずれも昨年度より減少している。肯定的な回答をしなかった児童の割合は12.7%、生徒の割合は26.3%である。
- 一方、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたと回答する学校は、全国と比べて高く、全ての中学校で行っている。
- ☞ 本県のめざす「やまぐちっ子のすがた」である「高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人」を育てるために、今後も、キャリア教育の一層の充実を図ることが必要である。

### 【小学校】 (9) 将来の夢や目標をもっている

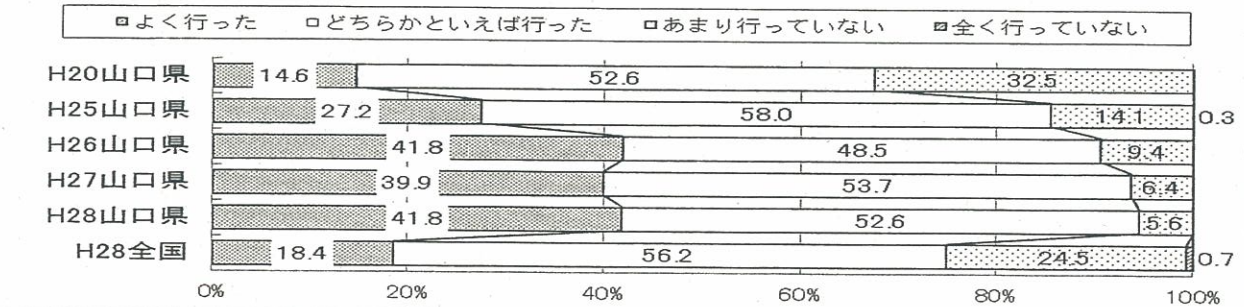


### 【中学校】 (9) 将来の夢や目標をもっている

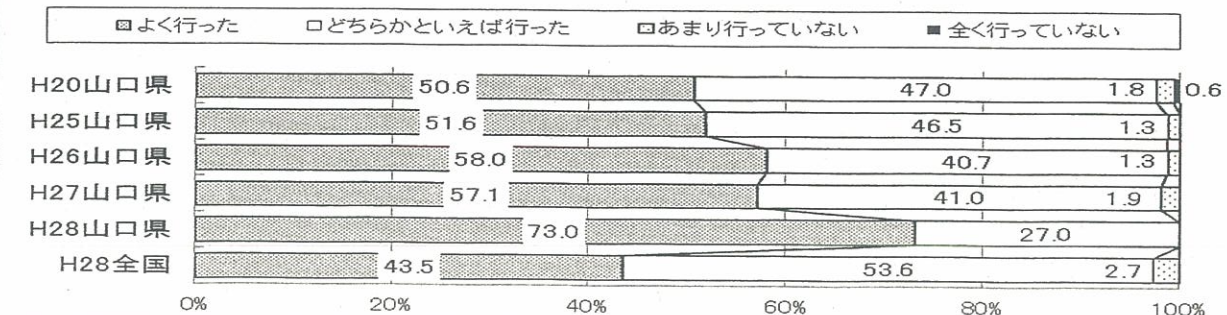


## [学校質問紙との関係]

### 【小学校】 48 児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした



### 【中学校】 48 生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている

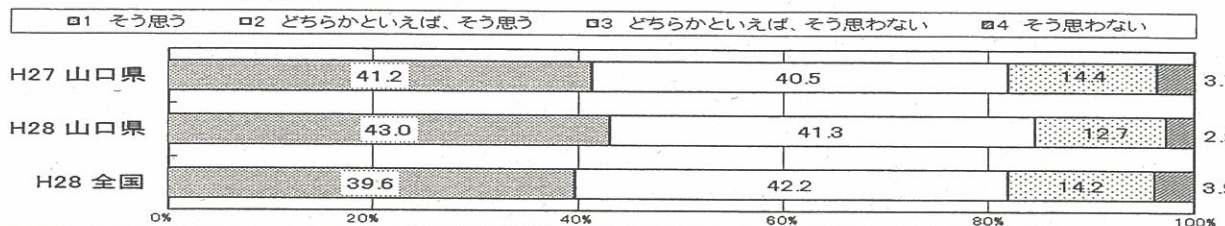


## ⑤ 学校での活動

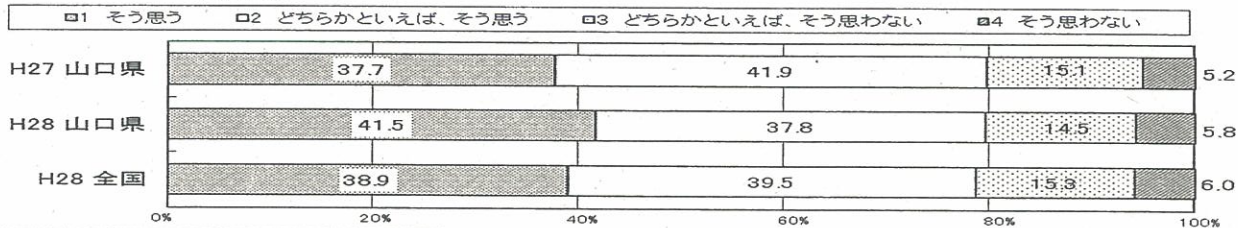
### ア 話し合って決まりを決めている

- 学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思うと回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 多くの学校で、教科の授業に限らず、児童生徒の話合いが行われ、主体的な学級づくりが推進されていると捉えられることから、今後も、児童生徒の主体性を尊重し、話し合い活動の充実に向けた継続した取組が望まれる。

【小学校】 (29)学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思う



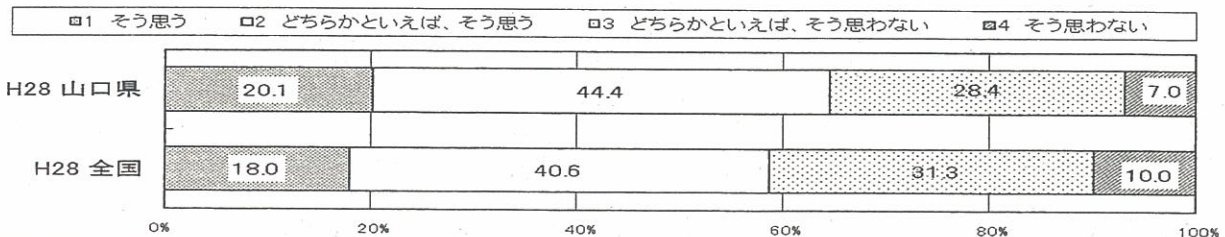
【中学校】 (29)学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思う



### イ 自分とは異なる意見や少数意見を尊重

- 話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていると回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 話し合い活動の経験を重ねることで、話し合うことのよさや相手の意見を尊重する意識の高さが養われつつあると捉えられることから、今後も、児童生徒が活発に意見を交わせる話し合いの場の設定と学級風土の醸成に取り組む必要がある。

【小学校】 (30)学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている



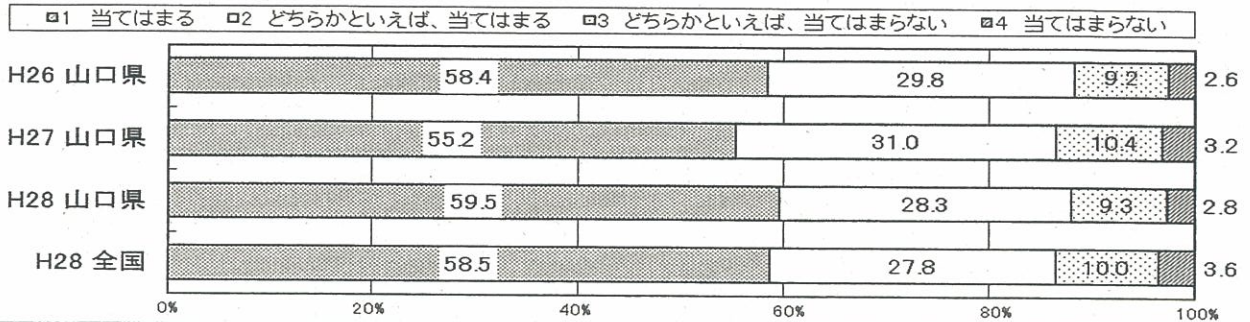
【中学校】 (30)学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている



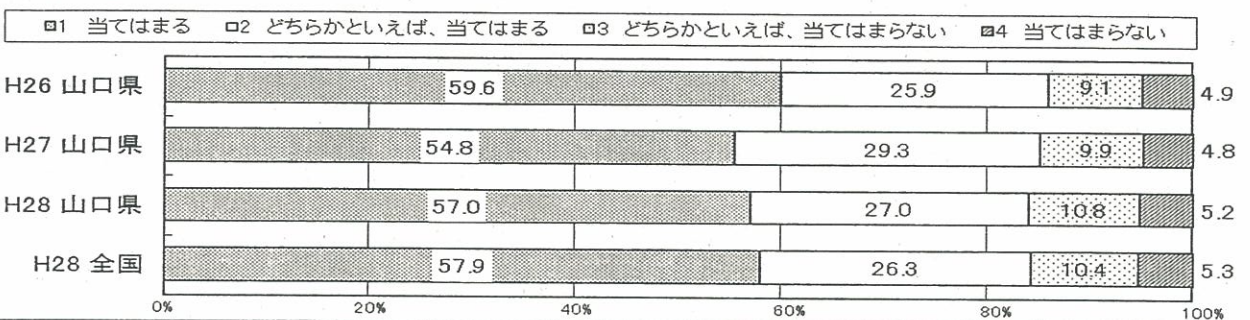
## ウ みんなで協力してやり遂げ、うれしかった

- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると回答した生徒の割合は、年々減少しており、全国に比べてもやや低い。
- 一方で、学級全体で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたと、ほとんどの学校が回答している。
- ☞ 引き続き、計画的・意図的に協働的な活動場面を設定するなどの工夫をするとともに、児童生徒が成就感を得られるための指導が必要である。

【小学校】 (31)学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

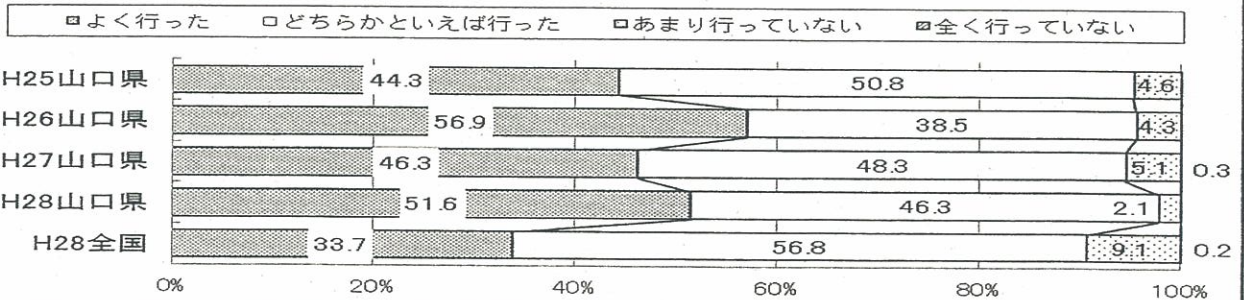


【中学校】 (31)学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

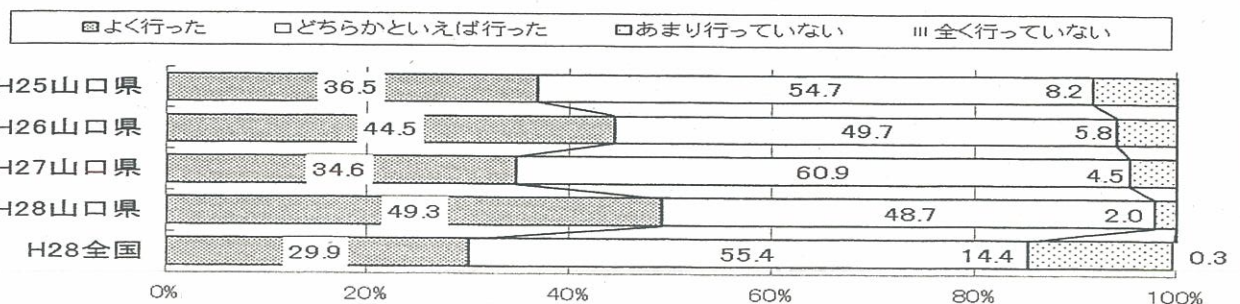


## [学校質問紙との関係]

【小学校】 49 児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた



【中学校】 49 生徒に対して学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた





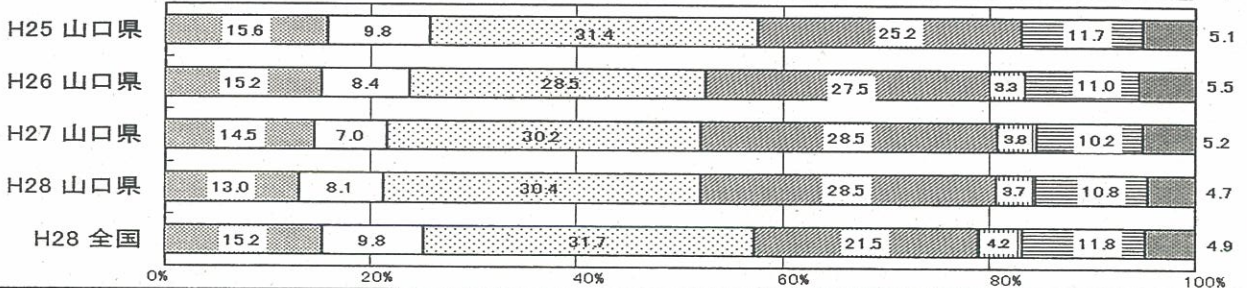
## エ 分からないことへの対応

● 授業で分からないことがあったとき、「先生に尋ねる」「友達に尋ねる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、依然として全国に比べて低く、「そのままにしておく」と回答した児童の割合は4.7%、生徒の割合は7.1%である。

☞ 自分で調べたり、人に尋ねたりするなどにより、分からないことを解決していく児童生徒の教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、児童生徒が分からないことに直面したとき、適切な解決方法を選択し、最後まで問題を解決していこうとする意識を高める指導を行っていく必要がある。

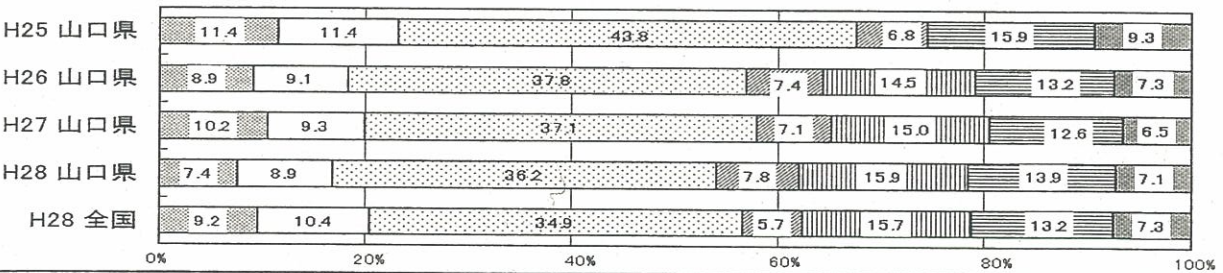
【小学校】 (60) 授業で分からないことがあったら、どうすることが多いですか

- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねに行く
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく



【中学校】 (60) 授業で分からないことがあったら、どうすることが多いですか

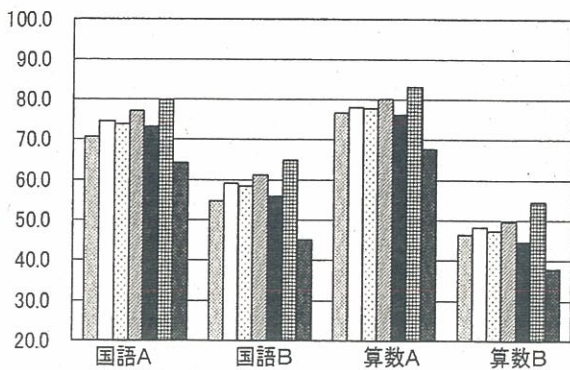
- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業が終わってから先生に尋ねに行く
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人に尋ねる
- 5 学習塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにしておく



## [教科の正答率との関係]

【小学校】授業の中で分からないことがあったら、どうするか

- その場で先生に尋ねる
- 授業後に先生に尋ねる
- 友達に尋ねる
- 家の人に尋ねる
- 塾の先生に尋ねる
- 自分で調べる
- そのままにしておく



【中学校】授業の中で分からないことがあったら、どうするか

- その場で先生に尋ねる
- 授業後に先生に尋ねる
- 友達に尋ねる
- 家の人に尋ねる
- 塾の先生に尋ねる
- 自分で調べる
- そのままにしておく

